

国語 第6学年 物語を読んで考えたことを、伝え合おう 検討会の想定問答

指摘 1: 考えをまとめるだけなら、感想文と何が違うのか。

返し: 中心はC(1)オ（読んだ内容を基に、自分の考えをまとめること）。感想を書くことではなく、物語の初めから終わりまでの「カル」の変化を根拠にして、考えをまとめることをねらう。本時は、考えたこと・物語の根拠・自分の経験の三つがそろっているかで評価する。

指摘 2: 評価規準は何か。どこで見るのか。

返し: 3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第4時の振り返り、思考・判断・表現①は第2時のワークシート、②は第3時のノート、態度①は第1時の初発の感想と第4時の観察・振り返りで見る。

指摘 3: 言語活動は何か。

返し: C(2)イ「詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動」。物語を読んで考えたことを、自分の生活や読書経験と結び付けてまとめ、グループで語り合う。

指摘 4: 個に応じた指導はどうするのか。

返し: 読むのが苦手な子には、「カル」の見方が表れた場面を先生が示し、そこから考えさせる。書くのが苦手な子には、まとめの文の型を示す。経験を書きたくない子には、前に読んだ別の本と比べて書く道を用意する。早く書けた子にも、別の本と比べて書き足させる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 5: ICTは使わないのか。

返し: 第4時の語り合いの前に、まとめた考えを共有の画面に出し、共通点や相違点に色で印を付けながら見比べること。翻訳された物語や、本を届ける仕事を題材にした本を、学校図書館の蔵書から端末で検索すること。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ、ノートを回し読みして付箋を貼る形で同じ活動ができる。

指摘 6: 4時間で足りるのか。

返し: 4時間は光村図書出版の年間指導計画例の配当（読むこと4時間）に合わせた。物語全体を一時間で捉えるため、第2時の図は先生が枠を用意し、場面ごとに細かく読むことはしない。足りない時は、第1時の設定の確認を短くし、初発の感想を家庭で書かせる。本の紹介は、学校図書館の時間と重なる（第3の1(6)）。

指摘 7: 自分の経験を書かせるのは、子どもによっては負担にならないか。

返し: 経験は読書に限らず、学校や家庭での出来事でもよいとし、話したくないことは書かなくてよいと最初に伝える。経験の代わりに、前に読んだ別の本と比べて書く道も用意する。C(1)オは「自分の考えをまとめること」で、経験を書くこと自体を求めているわけではない。経験は考えをまとめるための材料として扱う。

指摘 8: 発問が多すぎないか。

返し: 本時の中心発問は「『カル』の変化を読んで、あなたが考えたことは何ですか。それは、あなたのどんな経験と結び付きますか」の一つ。他は考えを一文にする問いと、経験との似ている所・違う所を聞く問いで、全体には中心発問とめあてだけを板書する。(3)オの読書に関する事項は、第3の1(3)にあるとおり、読むことの指導を通して指導する。

指摘 9: 板書はどう使うのか。

返し: 前時の「カルの見方の変化の図」を右に残し、本時の考えの根拠にする。中央に子どもが考えたことを短い言葉で並べ、左に経験の観点の例とまとめの文の型を置く。右から左へ、物語の理解、考え、経験、まとめの順に並ぶので、ノートに書く順と同じになる。

指摘 10：振り返りは何を書かせるのか。

返し：本時は「自分の経験と結び付けて考えたこと」と「次の時間に友達に聞いてみたいこと」の二つ。第4時は「友達の考えを聞いて、自分の考えが広がったこと」を書かせ、(3)オの「読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと」の評価に使う。

指摘 11：教科書の手引きどおりでいいのか。

返し：手引きは指導事項に沿って作られているので、外す理由はない。この指導案は指導事項から組んであり、他社の教科書でも、人物の見方が変わる物語に置き換えて使える。教材の観点は第3の3(2)コ（世界の風土や文化などに関わる観点）に当たり、翻訳作品を読む機会にもなる。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第5学年及び第6学年〕2内容C読むこと(1)エ・オ・カと(2)イ、〔知識及び技能〕(3)オ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

